

明日
激突

初会津北嶺

△学法石川・会津北嶺
△初の決勝進出を
果たした会津北嶺
④4回、3点適時三
塁打を放った田原
⑤3回、勝ち越しの
2点適時二塁打を放
つ倉田

倉田&田原が闘志

第107回全国
高校野球選手権
福島大会 第11日
(23日 ヨークいわ
きスタジアム)



リード守り切り
会津北嶺が、その歴史に
新たな一ページを刻んだ。
ノースードからの快進撃で
初の決勝舞台へ上り詰め、
木口奨監督(3)は「本場に
頼もしい」と目を細めた。
主砲の一振りがナインに
火を付けた。1点ビハイン
ドの3回、押し出し四球で
追いつくと、4番・倉田頼
杜(らいと、3年)がライ
ト方向へはじき返した。21
日の準々決勝・福島成蹊戦
で左足を負傷。痛み止めを
飲んで出場し「監督さんが
使ってくれたんで」と足を

倉田、田原はともに県外出
身だが、第二の故郷で「会津
魂」を胸に刻んできた。悲願
の甲子園切符まであと一勝。
倉田は「このままの勢いで自
分たちの野球を見せつけた
い」田原は「一戦集中で戦い
抜きたい」。もう一度、歴史を
塗り替える。(鶴巻 裕樹)

準決勝2試合が行われた。聖光学院は5点ビハインド
をはね返し、同点に追いついた8回に代打・坂元哲(3
年)の右中間適時二塁打で勝ち越し。粘りの「聖光野球」
で4連覇に王手をかけた。会津北嶺は学法石川を8-7
で振り切り、創部初の決勝進出。会津勢としては1988
5年の若松商以来40年ぶりとなる。決勝戦はあす25日(午
前10時開始予定)、ヨークいわきスタジアムで行われる。

引きずりながら三塁へ。ベン
チに向かって右拳を突き上げ
た。この闘志あふれるプレー
に3番・田原一聖(同)も奮
起。4回1死満塁から、走者
一掃の右越え三塁打を放ち
「一発決めてやろうという気
持ちでした」と胸を張った。
中盤以降、学法石川の追い上
げに苦しめられたが、最後ま
でリードを守り切った。
どん底からはい上がってきた。
2017年、若松第一か
ら現校名となり、18年に再出
発した野球部。その年の夏は、
日大東北に0-39と屈辱の大
敗からのスタートだった。翌
春、コーチとなった木口監督
は「野球に取り組む姿勢など
から指導してきました」。3
年前、正式に監督に就き、選
手と寄り添いチームづくりを
してきた。

▽準決勝 (ヨークいわき)
会津北嶺 004400200078
学法石川 01003120007
(念)関根 小秋、木村 井ノ川
(念)関根 小秋、木村 井ノ川
(念)関根 小秋、木村 井ノ川
▽三塁打 田原(念)▽二塁打 倉
田(念)佐川、小池、芳賀(学)